

楽楽館だより 第150号【令和元年12月度】

新年となりました。館長・石川敬治より、新年のご挨拶をさせていただきます。

「明けましておめでとうございます。介護の世界では、いま自立支援ということが叫ばれています。これは、従来の“ご高齢者のお世話”を中心とする介護から、栄養改善・運動・社会参加など機能訓練を通じてできるだけ要介護状態にならずに、また、要介護状態にある方が重度化しないように、という考え方です。楽楽館も今後は、この考え方に沿ってより一層皆様に元気になっていただくことを目標とし、様々な活動を企画、実行していきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。」

◇ ～しめ縄飾りに挑戦～◇

12月のレクリエーション製作では、初めてしめ縄飾り作りに挑戦しました。福島県の工房よりしめ縄を取り寄せ（約80個も！）、フェルトで作った紅白の椿と葉、松ぼっくりを飾り付けます。金銀の色画用紙で扇子を作り、色とりどりのポンポンを散らせば素敵な手作りしめ縄の完成です。椿の芯の部分も、花びらの部分も、「え～！こんな風に作る事ができるの?!」と皆様感心しながら切っていました。「誰かに持っていかれたら困るから、玄関の中に飾ったわよ！」とのセリフに、皆で大笑いしたのです。



◇ ～クリスマスケーキ作り～◇



「子どもが小さかった頃はクリスマスも一大事だったけれどね～」とおっしゃいながら、ケーキ作りを行ったクリスマス。間にもフルーツと生クリームをたっぷり挟んで、デコレーションケーキができました。「楽しいし美味しいし、いいことづくめだね！」と男性のご利用者様も喜んでくださいました。役割分担してできることをお手伝い頂く…。一つ一つがリハビリとなります。

◇ ～初めての和食ツアー～◇



12月の外食は、お寿司ツアーと和食ツアーでした。和食は、今回初めて南流山の夢庵さんへお連れしました。メニューは、ローストビーフやお刺身、天婦羅などいくつもの小鉢が並び、炊き込みご飯の付くセットです。ドリンクも飲み放題で、色々なお話をしながらゆっくりとお食事を頂くことができました。「とても良かった！また行きたい！」と、笑顔のあふれる時間となりました。

◇ ～今月のナイスショット～◇

楽楽館全体の忘年会のワンシーンを少しばかりご紹介…。明るく元気なスタッフ達。色々行き届かない所もございますが、今年も笑いと愛を忘れず、がんばります！

